

小学校 低 学年< 2 - (9) >

学 年	2年	時 間	学級活動（帰りの会等の短学活で） 「大雨だ！」2年①	時 期	6月～7月 または適時	時 数	15分～20分
目 標	<ul style="list-style-type: none"> 大雨がもたらす大規模な災害によって、自分の身の回りに起こる災害の危険を知る。 大雨災害から、自分の命を守るための方法を知り、安全に行動することができるようにする。 						
資 料・準 備	スライド(文科省・防災教育教材「災害から命を守るために」H20.3 低学年 気象災害「大雨だ！強風だ！かみなりだ！」)、白板または白模造紙、ワークシート、チャレンジ防災48(資料24-1)						

展開

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	1 大雨による気象災害について学習することを知る。 ◇激しい雨を経験したことがありますか。	○これまでに経験した大雨について話し合わせ、それが気象災害につながることを説明する。 ○地域で最近起こった大雨があれば思い出させる。なかなか出ない場合、教師が引き出す。
展 開	2 まちに大雨が降ったとき、どんな危険があるか、どのように身を守ればよいか考える。 スライド2-1-1を提示 ◇大雨が降っているとき、この絵の中のどんなところが危ないと思いますか。班で話し合ってみましょう。 ◇なぜ、そこが危ないのか話し合った結果を理由も付け加えて発表してください。 () 班、発表してください。 同じ班の人で、付け加えはありませんか。 ◇それでは、確かめてみましょう。 スライド2-1-2を提示 ◇けがをしないために、自分だったらどうしますか。 <共通> ・むやみに外に出ない ・一緒にいる大人の指示に従う <まちの中> ・浸水しているときは足元に気を付ける ・低い場所や地下のガレージや地下街に行かない。	○学校や地域の場所が、「まち」の部分がどの方が多いかで①(1-9)と②(1-10)のどちらを先に扱うか決めるとよい。それにより、導入の扱い方が変わってくる。(多い方を先に扱う) ○準備した白板(移動白板)または白模造紙(黒板に貼る)に、スライドを映す。(書き込みが可能になる。) ○自分の考えと人の考えとを比べながら班で話し合い、考えをまとめて意見を言うことができるようにする。 ○順番に班で発表させるが、班を代表して発表する児童には、前に出させて指示棒等で危険箇所をさし示して理由も発表させる。 ○児童がさし示した危険箇所に、教師が丸印をつけ、残す。 ○次のスライドを見せて、主な危険を説明する。場面は同じなので、同じ白板または白模造紙に映す。 ○スライドの絵をヒントに、どんな身の守り方があるか意見を引き出すようにする。 ☆班での話し合いを通して、予想される危険な事態について理解できたか。 ☆気象災害が自分の身の回りで起こることを理解できたか。
ま と め	3 身を守るために大切なことを確認する。 ◇大雨のとき、どのようなことが大切なのか考えてみましょう。 スライド2-1-3を提示 ◇学習したことをワークシートにまとめましょう。	○大雨のときの対応を確認する。 ○気象の変化に気付いた場合は、安全に行動できるように指導する。(資料参照) ○学習した大事なことをワークシートにまとめる。 ☆安全に行動しようとする姿勢が身についたか。

関 連 す る 教 科 ・ 領 域 等	「大雨だ！」2年②
協 力 団 体	